

事務事業名	病院事業会計補助事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課
政策名	〈Ⅲ〉地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	総務G	課長名	梅木郁夫
施策名	〈16〉地域医療の充実	担当者名	落合正成	電話番号 (内線)	0854-40-1018 3615
基本事業名	〈047〉2次医療機関の充実と救急体制の維持	予算科目	会計 款 項 目 中事業 0120050526		病院事業会計補助金

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	<p>・市立病院が自治体病院としての役割を果たすうえで、一般会計が負担すべき経費を病院事業会計へ補助する。</p> <p>・平成22年度までは一部事務組合への負担金としていたが、平成23年の市立化によって補助金として支出している。</p>	<p>・地方公営企業法第17条の2に規定する一般会計から病院事業会計への負担金。</p> <p>・総務省が示す繰出項目に基づいて一定の基準を定めている。</p>

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体 計画
繰出基準に基づく補助金(負担金) 697,118千円	千円						
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等) 当初予算編成時の協議⇒執行計画⇒9月補正⇒3月補正(確定)	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他一般財源	753,543	704,906	697,118	672,106	0	
事業費計(A)	千円	753,543	704,906	697,118	672,106	0	
正規職員従事人数	人	1	2	2	1		
延べ業務時間	時間	160	96	96			
人件費	千円	610	373	378	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	754,153	705,279	697,496	672,106	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名						最終 (目標)
		単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	
⑤ 活動指標	23年度実績(23年度に行った主な活動)							
	繰出基準に基づく額の算定、補正、執行	千円	753,543	704,906	697,118	672,106	-	-
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)							
	繰出基準に基づく額の算定、補正、執行							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名						最終 (目標)
		単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	
⑥ 対象指標	雲南市病院事業会計							
	1床当たりの繰出額	千円	2,256	2,510	2,481	2,392	-	-
⑦ 成果指標	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)							
	雲南市立病院の経営の安定を図ることで、市民に救急医療の確保等医療を提供することで、安心して住める地域づくりを行う。							
	年間外来者数	人	105,925	98,269	99,775	100,450	-	-
	延入院患者数	人	79,447	88,147	91,337	92,710	-	-
	救急医療延患者数	人	5,178	4,685	5,000	5,000	-	-
⑧ 上位成果指標	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)							
	安心して医療機関を利用できる	%	61.3	72.1	73.9	-	-	-

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は どう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と 比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関する これまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者 (市民、議会、事業対象者、利害関係者等)から どんな意見や要望が寄せられているか?
平成20年度公立雲南総合病院組合と雲南市において、地方交付税を根拠としない繰出基準を協議し、新たな負担は雲南市が負担することとした。 平成23年市立病院移行後においてもその基準を継続している。	同左	繰出基準に基づく負担と病院の経営状況を考慮した基準外の負担を行っており、経営の健全化を図ることでの基準外の負担額の減が求められている。 市立病院からは、基準外の廃止を含めた見直しの要望を求められている。

事務事業名	病院事業会計補助事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課
-------	------------	-----	-------	-----	---------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ 地域医療の拠点病院に対する負担は、市民が安心して住める定住環境の整備に不可欠である。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ 地域が必要とする救急等の不採算医療を確保するための負担金である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ 公営企業である病院事業への繰出である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 地域医療を取り巻く環境は厳しく、医師不足のなか、経営を向上させることは困難な面がある。病院においては、経営の見直しを行い、基準内での運営を目指す必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ 病院への負担は、公立病院として担う必要がある救急等への不採算部門の経費であり、事業の廃止は地域医療の提供が困難となる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ 他に類似の業務はない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 繰出基準に基づく繰出のほか、基準外の繰出を行っており、経営の健全化を図ることで負担額の軽減も目指す。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 病院繰出業務に対する経費の減はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 地域の医療機関の確保は住民が安心して住める地域づくりには不可欠である。誰にでも診療の機会があり負担は公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地域医療の拠点となる病院の設置は、安心して住める地域づくりには不可欠であり、一定の病院への負担は必要である。繰り出基準外の負担の軽減を図る必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 今後とも経営の健全化を図る必要がある。	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 医師不足や診療報酬の削減等病院経営は厳しさを増している。医師の確保等努力するなかで、安定的な経営、医療の提供を行いたい。																							